

2010年3月期第1四半期決算

2009年7月24日

株式会社 野村総合研究所



第1四半期 連結決算ハイライト

(百万円)

	2009年3月期 第1四半期	2010年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	79,495	81,521	+2,025	+2.5%
営業利益	9,859	9,953	+93	+1.0%
営業利益率	12.4%	12.2%	△0.2P	
経常利益	10,915	10,860	△54	△0.5%
四半期(当期)純利益	6,051	6,124	+73	+1.2%

業種別連結売上高

(百万円)

	2009年3月期 第1四半期	構成比	2010年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
証券業	32,774	41.2%	31,100	38.1%	△1,674	△5.1%
保険業	9,129	11.5%	13,402	16.4%	+4,273	+46.8%
銀行業	6,039	7.6%	6,532	8.0%	+492	+8.2%
その他金融業	7,351	9.2%	6,034	7.4%	△1,316	△17.9%
金融サービス業	55,295	69.6%	57,069	70.0%	+1,774	+3.2%
流通業	10,843	13.6%	10,594	13.0%	△249	△2.3%
その他産業等	13,356	16.8%	13,857	17.0%	+501	+3.8%
合計	79,495	100.0%	81,521	100.0%	+2,025	+2.5%
野村ホールディングス	23,545	29.6%	22,563	27.7%	△982	△4.2%
セブン&アイ・ホールディングス	9,500	12.0%	9,797	12.0%	+296	+3.1%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む

品目別連結売上高

(百万円)

	2009年3月期 第1四半期	構成比	2010年3月期 第1四半期	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	7,380	9.3%	6,336	7.8%	△1,044	△14.1%
開発・製品販売	32,513	40.9%	30,638	37.6%	△1,875	△5.8%
運用サービス	37,083	46.6%	42,314	51.9%	+5,230	+14.1%
商品販売	2,517	3.2%	2,231	2.7%	△285	△11.3%
ITソリューションサービス	72,114	90.7%	75,184	92.2%	+3,070	+4.3%
合計	79,495	100.0%	81,521	100.0%	+2,025	+2.5%

2010年3月期第1四半期 連結決算のポイント

● 1Qは業績予想に対して想定ラインで推移

1. 期初からの受注残があったこと、保険業・その他産業等向へのシフト等により、売上高は微増（前年同期比+2.5%）を確保
2. 1Qの証券市場は若干持ち直したものの、証券会社のITコスト削減トレンドは継続
3. コンサルティング、開発・製品販売は苦戦、運用サービスは堅調

● 外部委託費のコントロールに取り組む一方、販管費は増加

1. 外部委託費の適正化に努め（前年同期比△2.4%）、運用サービスでは外注費低減。一方で、開発・製品販売は新規分野の仕事増により外注費は増加
2. 販管費について、経費削減の徹底を行った。一方で営業や、中長期の仕込み活動（人材育成・研究開発等）により、販管費は前年同期比+2.4%と増加

● 今後の見通しについては依然不透明感があり予断を許さない

1. 主要顧客を含む証券業向けの売上高の不透明さは継続。また、新規分野での新規開発案件も下期に向けて不確定要素あり

連結P/Lハイライト

(百万円)

	2009年3月期 第1四半期	2010年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	79,495	81,521	+2,025	+2.5%
売上原価	56,517	58,129	+1,611	+2.9%
外注費	28,420	27,747	△673	△2.4%
売上総利益	22,977	23,392	+414	+1.8%
売上総利益率	28.9%	28.7%	△0.2P	
販管費	13,118	13,438	+320	+2.4%
営業利益	9,859	9,953	+93	+1.0%
営業利益率	12.4%	12.2%	△0.2P	

連結P/Lハイライト 続き

	2009年3月期 第1四半期	2010年3月期 第1四半期	増減額	(百万円) 増減率
営業利益	9,859	9,953	+93	+1.0%
営業外損益	1,055	906	△148	△14.1%
受取利息	275	110	△164	
受取配当金	832	831	△1	
経常利益	10,915	10,860	△54	△0.5%
特別損益	△348	△296	+51	-
投資有価証券評価損	-	△309	△309	
リース会計基準適用に伴う影響額	△351	-	+351	
法人税等	4,515	4,443	△71	
四半期(当期)純利益	6,051	6,124	+73	+1.2%

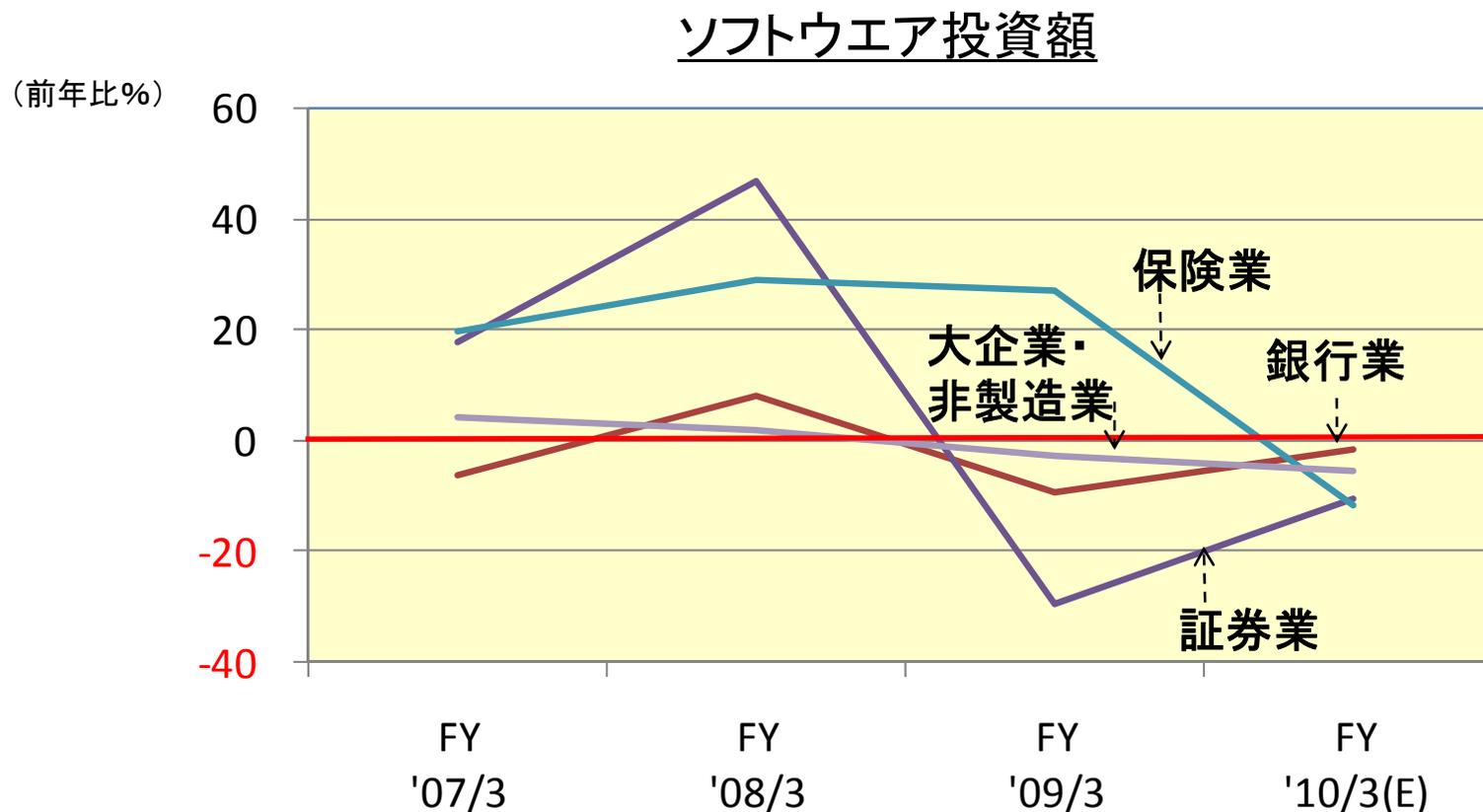
連結受注残高

(百万円)

	2008年6月末	2009年6月末	増減額	増減率
コンサルティングサービス	7,906	6,966	△939	△11.9%
開発・製品販売	23,501	43,333	+19,831	+84.4%
運用サービス	99,832	116,967	+17,134	+17.2%
ITソリューションサービス	123,334	160,300	+36,966	+30.0%
合 計	131,240	167,267	+36,026	+27.5%
うち期中分	129,994	164,246	+34,251	+26.3%

経営環境認識

- 日銀短観は3月調査時に比べ、ソフトウェア投資額(計画)の減少幅が金融機関を中心に改善。しかし依然として今期予想は前期比で減少



(出所)日銀短観(2009年6月調査)企業に対するアンケート調査に基づく

今期の業績見通し

- 1Qはほぼ予想の範囲内で推移。4月24日発表の連結業績見通しに変更はない
- 1Qの状況と今後の見通しを踏まえ、業種別・品目別の売上高予想の内訳を変更

(億円)

2010年3月期 (4/24予想)	1Q	2Q	下期	通期
売上高	815	864	1,820	3,500
営業利益	99	100	230	430
営業利益率	12.2%	11.6%	12.6%	12.3%

(注)2Qは、上期業績予想から1Qの実績を引いた数字

2010年3月期 業種別・品目別連結売上高予想(通期)

(億円)

業種別 通期	2009年3月期 通期(実績)	2010年3月期 通期(7/24予想)	前期比		2010年3月期 通期(4/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
証券業	1,324	1,260	△64	△5%	1,260	-
保険業	501	590	+88	+18%	560	+30
銀行業	256	300	+43	+17%	280	+20
その他金融業	286	270	△16	△6%	290	△20
金融サービス業	2,369	2,420	+50	+2%	2,390	+30
流通業	429	430	+0	+0%	430	-
その他産業等	614	650	+35	+6%	680	△30
合計	3,412	3,500	+87	+3%	3,500	-

品目別 通期	2009年3月期 通期(実績)	2010年3月期 通期(7/24予想)	前期比		2010年3月期 通期(4/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティングサービス	328	280	△48	△15%	320	△40
開発・製品販売	1,442	1,380	△62	△4%	1,360	+20
運用サービス	1,489	1,720	+230	+15%	1,700	+20
商品販売	151	120	△31	△21%	120	-
ITソリューションサービス	3,084	3,220	+135	+4%	3,180	+40
合計	3,412	3,500	+87	+3%	3,500	-

2010年3月期 業種別・品目別連結売上高予想(上期)

(億円)

業種別 上期	2009年3月期 上期(実績)	2010年3月期 上期(7/24予想)	前年同期比		2010年3月期 上期(4/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
証券業	668	620	△48	△7%	620	-
保険業	212	270	+57	+27%	260	+10
銀行業	121	150	+28	+24%	130	+20
その他金融業	146	130	△16	△11%	140	△10
金融サービス業	1,148	1,170	+21	+2%	1,150	+20
流通業	216	210	△6	△3%	210	-
その他産業等	288	300	+11	+4%	320	△20
合計	1,652	1,680	+27	+2%	1,680	-

品目別 上期	2009年3月期 上期(実績)	2010年3月期 上期(7/24予想)	前年同期比		2010年3月期 上期(4/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティングサービス	167	130	△37	△22%	150	△20
開発・製品販売	688	650	△38	△6%	650	-
運用サービス	740	850	+109	+15%	830	+20
商品販売	56	50	△6	△12%	50	-
ITソリューションサービス	1,485	1,550	+64	+4%	1,530	+20
合計	1,652	1,680	+27	+2%	1,680	-

2010年3月期 業種別・品目別連結売上高予想(下期)

(億円)

業種別 下期	2009年3月期 下期(実績)	2010年3月期 下期(7/24予想)	前年同期比		2010年3月期 下期(4/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
証券業	655	640	△15	△2%	640	-
保険業	289	320	+30	+11%	300	+20
銀行業	135	150	+14	+11%	150	-
その他金融業	140	140	△0	△0%	150	△10
金融サービス業	1,220	1,250	+29	+2%	1,240	+10
流通業	212	220	+7	+3%	220	-
その他産業等	326	350	+23	+7%	360	△10
合計	1,759	1,820	+60	+3%	1,820	-

品目別 下期	2009年3月期 下期(実績)	2010年3月期 下期(7/24予想)	前年同期比		2010年3月期 下期(4/24予想)	前回予想差
			増減額	増減率		
コンサルティングサービス	161	150	△11	△7%	170	△20
開発・製品販売	754	730	△24	△3%	710	+20
運用サービス	748	870	+121	+16%	870	-
商品販売	94	70	△24	△26%	70	-
ITソリューションサービス	1,598	1,670	+71	+5%	1,650	+20
合計	1,759	1,820	+60	+3%	1,820	-

業種毎のトップラインの見通し

- 下期に向けさらなる営業努力による案件獲得と、成長分野へのリソースシフトを進める

業種毎のトップラインの見通し

リソース配分

		見通し	リソース配分
証券		下期に向けて厳しい環境は継続	他へシフト
保険		システム開発案件等の増加を見込む	強化
銀行		既存顧客向けで案件増	維持
その他金融		前期の特殊要因がなくなった影響もあり	維持
流通		見通しは変わらず	維持
その他産業等		システム開発の新規案件は順調	強化
		コンサルティングの受注環境は予想以上に厳しい	

外部委託費の適正化、販管費のコントロールについて

- 外部委託費の適正化は順調にスタート。販管費は事務委託費等削減は進んだものの、営業活動・人材育成等で人件費コスト増
- 継続して社員の稼働率向上や外部委託費の適正化を進める

外部委託費適正化の取り組み

推進のための社内横断プロジェクトを発足し、活動強化

プロジェクト活動

各本部で立案した活動計画のPDCA管理

様々な情報発信、情報共有化

各種啓蒙活動の展開

業務改革の例

エンハンス業務における仕事量に応じた効率化

オフショア開発の積極活用

販管費のコントロールについて

(前年同期比:億円)

-10 -5 0 5 10

営業活動
人材育成
等で増加

人件費



事務委託費



その他



販管費計



+3.2億円, +2.4%

-
- ・本資料は、2010年3月期第1四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。